



2026年2月16日

各 位

会社名 株式会社ズーム
代表者名 代表取締役 CEO 工藤 俊介
(コード: 6694、東証スタンダード)
問合せ先 取締役 CFO 山田 達三
(TEL. 03-5297-1001)

特別損失の計上及び業績予想と実績値との差異に関するお知らせ

当社は、2025年12月期（2025年1月1日～2025年12月31日）において、特別損失を計上いたしました。また、2025年8月13日に公表いたしました通期連結業績予想と、本日公表の実績値との間に差異が生じましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 特別損失の計上について

2025年12月期において、以下のとおり特別損失を計上いたしました。

(1) 事業構造改善費用：128,003千円

収益力の回復と経営基盤の再構築を目的とした抜本的な構造改革を実施いたしました。具体的には、組織のスリム化に伴う退職勧奨に係る費用、低収益製品群からの撤退及び開発方針の見直しに伴う不要部材の処分費用等を計上いたしました。

(2) 減損損失：862,626千円

米国子会社である Zoom North America, LLC（以下、「ZNA」）において、市場環境の変化に伴う収益性の低下により減損の兆候が認められました。「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、将来の回収可能性を検討した結果、のれん及び一部の固定資産について帳簿価額を回収可能価額まで減額し、835,209千円を減損損失として計上いたしました。また、生産終了に伴う金型等の固定資産についても、27,416千円を減損損失として計上しております。

2. 2025年12月期通期業績予想数値と実績値との差異（2025年1月1日～2025年12月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 17,800	百万円 500	百万円 360	百万円 △220	円 錢 △50.77
実績値(B)	17,437	△56	△231	△1,728	△398.85
増減額(B-A)	△362	△556	△591	△1,508	
増減率	△2.0%	-	-	-	
(ご参考)前期実績 (2024年12月期)	18,072	531	554	40	9.41

3. 差異の理由

(1) 売上高及び営業利益・経常利益

売上高については、米国市場における相互関税の影響や需要減退に加え、スマートフォン等の普及による代替需要の拡大に伴い、汎用価格帯製品の競争が激化したこと等により、前回発表予想を下回る結果となりました。

営業利益、経常利益についても、主に以下の要因により前回発表予想を下回り、それぞれ損失を計上いたしました。

- ・ 売上総利益の減少（約 330 百万円）
 - 売上高の減少に伴う影響（約 200 百万円）
 - 在庫評価基準の保守的運用による棚卸資産評価損の計上（約 100 百万円）
- ・ 販売費及び一般管理費の増加（約 220 百万円）
 - 海外子会社における人件費及び物流費の上昇
 - ユーロ・ポンド高に伴う為替影響

(2) 親会社株主に帰属する当期純利益

上記の要因に加え、前述の通り事業構造改善費用及び減損損失等を特別損失として合計 990 百万円計上いたしました。また、連結子会社（ZNA）が計上していた繰延税金資産 337 百万円を取り崩したこと等に伴い、法人税等調整額を 125 百万円計上したことから、親会社株主に帰属する当期純利益は前回発表予想を大きく下回る結果となりました。

以上